

那珂川市図書館

オススメの1冊

『髪結百花』

泉 ゆたか／著 KADOKAWA 一般書【Fイズ】

日本では、6世紀半ばから本格的な結髪文化が始まったとされています。髪をまとめたり、結ったりすると、心身ともに引き締まる…。それは今も昔も変わりません。

『髪結百花』は、江戸時代の吉原を舞台にした、髪結いとして働く女性・梅が主人公の時代小説です。梅の母・アサも髪結いを生業としており、梅は助手として吉原に出入りしていました。しかし、アサが倒れたことをきっかけに髪結いの仕事を全て引き継ぐことに。梅は様々な事情を抱えた女性たちの髪を結うことで、時には固くなった心をほぐし、時には一歩踏み出す勇気を与えていきます。そして梅自身も髪結いの仕事を通じて、働き詰めだった母や、己の過去と向き合うこととなります。

過酷な人生であっても、自分らしく前へ進もうとする女性たちの姿に、元気をもらえるお話です。

作中では島田、立兵庫、たてひょうご、とうろうびん、燈籠髷など、江戸時代の様々な髪型が登場します。髪結いのシーンでは、まるでヘアカタログを広げているようなわくわくした気持ちになります。

『日本髪大全』（田中圭子／著 誠文堂新光社）で実際の写真や結い方を見ながら読むのも楽しい一冊です。

年末年始、日本髪にチャレンジしてみませんか？

那珂川市図書館司書（たいこ）